

2019 年 3 月期第 2 四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

■国際線について

Q1：好調な国際線の路線別の分析を教えてください。

A1：欧州路線および中国路線が上期計画対比で大きく伸び、全体を引っ張った。

■国内線について

Q2：単価が第 1 四半期で対前年比では微減であったが、第 2 四半期決算では対前年比で反転して上昇している。その理由は？

A2：第 2 四半期での単価上昇の理由は、レベニューマネジメントの効果である。レベニューマネジメントの効果は、需要が高い時の方がより大きく効果が発揮される。ビジネス券種も単価が上昇している。

■事業環境について

Q3：台風や地震などの災害による下期業績への影響はあるのか？

A3：国内線については、全体で見れば影響はない。北海道路線だけ見れば需要減少は 10 月以降も一部残っているものの、回復基調にある。国際線インバウンド需要については、すでに収束しており影響はもはやない。

Q4：下期に向けて収入が減少するようリスクはあるのか？

A4：災害影響は足許の状況を見る限り、旅客収入や貨物収入への影響はない。一部、貨物において施設修繕費が発生するものの影響は極めて限定的である。

■旅客基幹システムについて

Q5：旅客基幹システムの効果は来年度以降どのようなようになるのか？

A5：予約精度向上など、まだまだ効果について上昇余地がある。運賃戦略も、よりきめ細かな設定ができる見込みであり、今後の更なる効果をぜひ期待していただきたい。

■今後の財務戦略・資本政策について

Q6：特別成長投資枠 500 億円の使用状況は？

A6：新 LCC への投資を 100～200 億円程度考えている。他にも様々な投資の可能性を検討中である。

以上